

「浜松市の無形民俗文化財」教材用資料

動画視聴後の内容復習・補足知識として使用できる「三択クイズ」「詳細データ」
授業の補助にお使いください

三択クイズ

【04】川名のひよんどり【国指定】

	問 題	選 択 肢	正 解
【 Q1 】	「ひよんどり」の名前の由来は？	お祭りの最後に「ひよんどり!」と叫ぶから 「火の鳥」を祭っているから 「火踊り祭り」がなまった	●
【 Q2 】	「ひよんどり」は何のために 行われるのでしょうか？	亡くなった人の供養のため 五穀豊穡、無病息災、子孫繁栄を願うため 毎年新しく作るお面を発表するため	●
【 Q3 】	「ひよんどり」で若者たちは ある格好をします。それはどれ？	お面をつける かつらをかぶる 服を着ない	●
【 Q4 】	「ひよんどり」が行われた 最も古い記録はいつでしょう？	応永33年(1426年)から 明治4年(1871年)から 2018年から	●
【 Q5 】	1月4日にやる理由はどれ？	年の始まりに行うため 田んぼや畑の農作業がないから 夏は暑くて大変だから	●
【 Q6 】	昔はなぜ男の人だけで やっていたのでしょうか？	女性が忙しいから 昔は女人禁制と言われていたから 男の人が力持ちで体力があるから	●
【 Q7 】	踊りの種類は どれくらいあるでしょう？	3種類 5種類 10種類	●
【 Q8 】	次のお面の中で「ひよんどり」で 使われるものはどれ？	翁(おきな)……年とった男、老人 猫(ねこ)……かわいい動物 天狗(てんぐ)……鼻が高く翼を持つ伝説の生き物	●
【 Q9 】	使用する楽器は次のどれでしょう？	ピアノ、ギター、ドラム 笛、太鼓、神楽鈴 バイオリン、フルート、シンバル	●
【 Q10 】	なぜ石で火おこしを しているのでしょうか？	マッチやライターは準備が必要だから 昔の方法を守っているから 神様のお告げがあったから	●
【 Q11 】	「ひよんどり」は大人になるための 儀式ですが何歳から参加するでしょう？	15歳 20歳 年齢は決まっていない	●
【 Q12 】	剣を使うのはなぜ？	剣が神聖なもので、霊が宿ると言われているから 踊る時に、かっこよく見えるから 剣を持つのが楽しいから	●

「浜松市の無形民俗文化財」教材用資料

ふりがな	かわ な のひよんどり	担い手	川名ひよんどり 保存会
名 称	川名のひよんどり	文化財指定	国指定 平成6年(1994年)
場 所	浜名区引佐町川名382-1 福満寺薬師堂(ふくまんじやくしどう) 通称：八日堂(ようかどう)	開催日	1月4日
概 要	「遠江のひよんどりとおくない」として「川名のひよんどり」「寺野のひよんどり」「懷山のおくない」が同時に国指定を受けている。五穀豊穡(田んぼや畑でたくさんの作物が育つこと)や子孫繁栄(家族がずっと続くこと)を祈る。「ひよんどり」の名前の由来は、祭りの最初に行われる「ヒドリ」という儀式から来ている。松明を持つ人が薬師堂に入ろうとすると、裸の若者たち(ヒドリ役)が立ちはだかり、激しく揉み合う。この場面の「火踊り祭り」がなまって「ひよんどり」となったと言われている。		
起 源	福満寺薬師堂の本尊・薬師如来像の胎内銘に「応永33年(1426年)に大檀那・井伊直貞の支援のもと新しく仏師法教・順教に刻んでもらいまつた」と記されている。そのため、そのころには既に祭りが行われていたと考えられる。令和8年(2026年)1月、600年となる見込み。		
演目・楽器	1月4日の朝8時過ぎから準備開始。禰宜(ねぎ=神様のお手伝いをする人)は、道具や松明を作り、他の人は飾り付けや見物客に振る舞う甘酒を準備する。午後2時頃「シシウチ行事」。シシウチ行事は田んぼや畑を荒らす猪を追い払うために、六所神社で模造の猪を弓で射る行事。神様へのお供え物も用意。夕方6時頃、裸の若者たち(ヒドリ役)が川に飛び込んで体を清めた後、薬師堂に戻り、入口で松明を持つ人を止めようとする。見物している人たちも大いに盛り上がる。松明が堂内に入ると、薬師堂の中で「ウタヨミ」や「禰宜の舞」などの儀式が始まる。五穀豊穡や地域の人々の健康を祈る。中でも、稲の豊作を願う「片稻叢の舞(かたいなむらのまい)」や「両稻叢の舞(りょういなむらのまい)」は、川名地域ならではの特別な舞。最後に「オブッコサマ」という人形が登場し、「汁掛け飯(しるかけめし)」をみんなで食べる。この料理を食べると雨が降り、稲作に必要な水がもたらされると言われており、豊かな作物が育つようにとの願いが込められている。		
建 物	福満寺薬師堂は「八日堂(ようかどう)」とも呼ばれる。何度か火事や地震で壊れたが、そのたびに再建。現在の八日堂は、安政5年(1858年)建立、昭和29年(1954年)現在地に移築され、平成22年(2010年)に保存修理工事を実施。隣の「伊豆神社(いずじんじや)」は、川名地区の氏神様をまつており、拝殿が受付や保存会の控え場所として使われる。また、薬師堂の南側には「六所神社(ろくしょじんじや)」もある。		
変遷 現在の姿	昔、旧暦の正月8日に行われていたが、戦後の社会の変化に合わせて、昭和40年(1965年)からは1月4日に変更。昭和49年(1974年)に静岡県の無形民俗文化財に指定され、保存会設立。現在では、NPO法人わたぼうしグランドデザインの協力を得て開催。		

●作成年月日／令和6年9月30日現在の情報

